

伊勢警察署協議会議事録

令和4年度第1回伊勢警察署協議会	
日時 場所	令和4年6月23日（木）午後2時00分～午後4時00分 伊勢警察署4階大会議室
出席者	<p>1 警察署協議会委員 12名 上田聖子委員、右京博巳委員、大見由佳委員、小川祐子委員、覺田満里委員、木本博文委員、杉浦信良委員、龍田芳子委員、藤原嘉紀委員、村田鎮男委員、山下育子委員、山下政宏委員、</p> <p>2 三重県公安委員会委員 1名 村田典子委員</p> <p>3 警察署 11名 署長、副署長、会計課長、警務官、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長</p> <p>3 事務局 3名</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1	退任された協議会委員への感謝状贈呈
2	委嘱状の交付
3	署長挨拶
4	三重県公安委員会委員挨拶
5	警察署幹部自己紹介
6	協議会委員自己紹介
7	協議会役員選出 会長 右京博巳委員 副会長 山下育子委員、上田聖子委員
8	会長、副会長挨拶
9	管内概況説明 (1) 犯罪情勢 (2) 交通事故情勢
10	主な協議 (1) 防犯メールについて 〈委員〉 伊勢警察署から、不審者や特殊詐欺に関する情報についてメールをいただいているが、犯罪抑制上、有意義なことなので是非続けてほしい。

(2) 特殊詐欺発生状況等について

〈委員〉 防災速報をダウンロードして活用している。

特殊詐欺の情報や不審者情報等があるごとに通知があり、効果的だと感じているので周りにも勧めたい。

特殊詐欺について、発生は昼間の時間帯が多いのか質問したい。

【生活安全課長】 今年は特殊詐欺が3件発生しており、いずれも昼の時間帯に発生している。

手口によって違うが、一人の時間帯を狙う傾向がある。

〈委員〉 日中、家にいるお年寄りに注意したいと思う。

【署長】 多額の現金を下ろすためには、銀行等のATMや窓口で手続きを取る必要がある。

犯人は窓口等が閉まる午後3時頃に電話を架け、慌てさせて下ろさせようとする傾向がある。

被害に遭わないように、家族や知人に知らせてほしい。

(3) 防災アプリについて

〈委員〉 防災アプリを紹介していただいたが、三重県警察としては防災アプリに情報が集約されているのか。

【生活安全課長】 防災アプリに三重県警察の情報が全て集約されている訳ではない。

伊勢警察署で言えば絆ネットメールと呼ばれるメールを自治会や自主防犯団体等に発信している。

他にも三重県警察のホームページに事件事故の情報等が掲載されている。

(4) 車両運転中の携帯電話の使用について

〈委員〉 運転中に携帯電話を使用している人を多く見かける。

今朝も携帯電話を片手に運転している人と事故を起こしそうになった。

何かの機会に広報してほしい。

【署長】 広報啓発活動に努めることとする。

(5) 不審電話について

〈委員〉 「電気料金が安くなります」といった内容や「捨てる靴があれば受け取りに行きます」といった内容の電話が架かってくるが、これは詐欺なのか教えてほしい。

〈委員〉 高齢の母が自宅にいるが、非通知の場合は電話を取らないように注意している。

〈委員〉 家で過ごしているとそういった電話を受けることがあるが、対策として、固定電話を解約した。

携帯電話に架かってきた場合も、登録した電話番号以外は取らないようにしている。

【生活安全課長】 電気料金の件は、正規の業者からの電話の可能性はあるが、不審であればクーリングオフ制度を利用して解約ができる。

次に、靴の件は、靴を受け取るだけでなく、後に貴金属等の高価な物を要求する等の手口に発展することがある。

業者は言葉巧みに話をするが、必要のない事はきっぱりと断ることが重要である。

非通知や県外からの着信等、不審な電話にはでないようにする。

また、電話を取ってしまった場合でも、一度電話を切って、警察や友人等に相談し、甘い言葉に騙されないように注意してほしい

11 公安委員会委員講評

備考	報道関係 1 社が取材
----	-------------